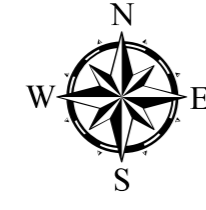


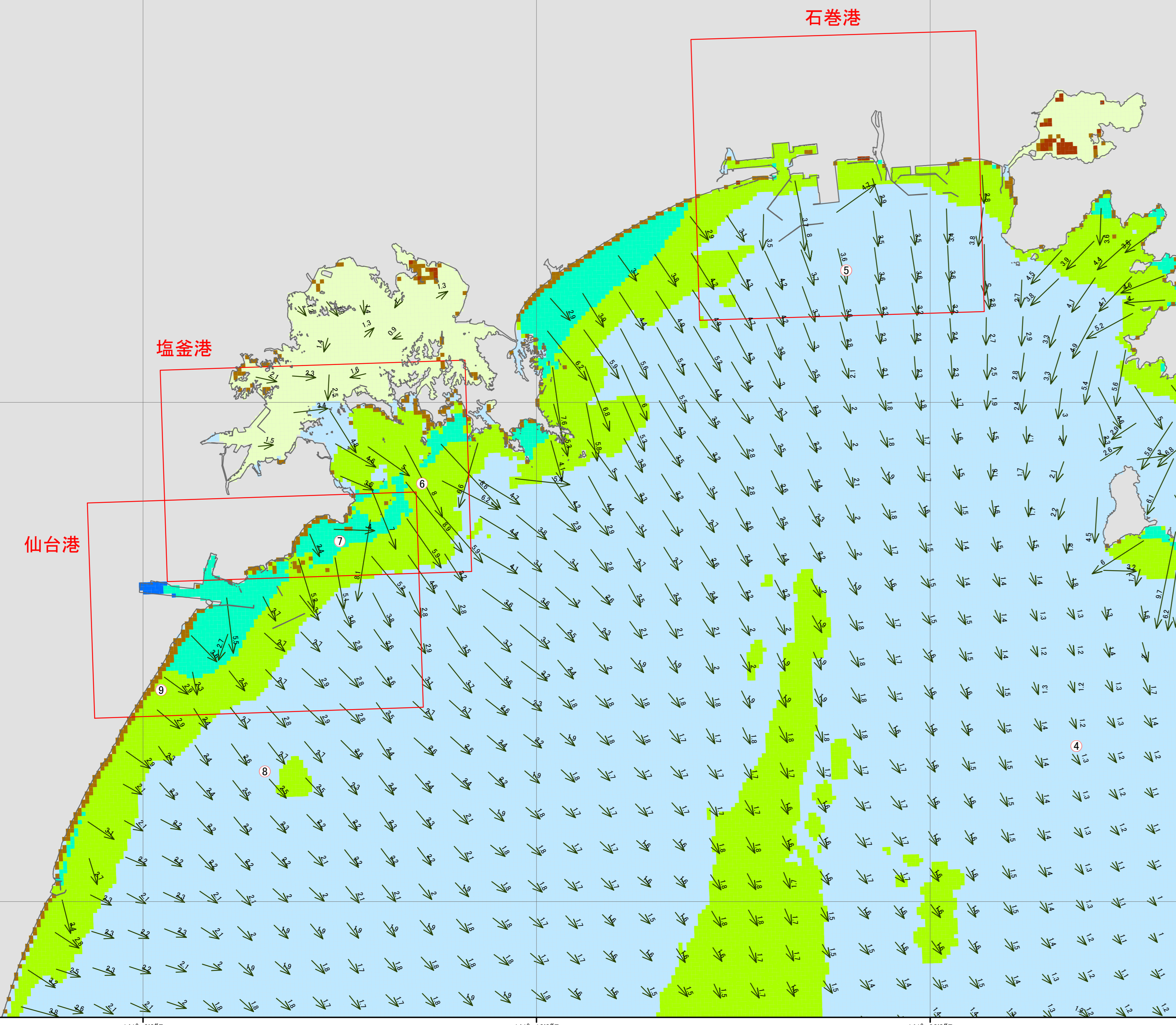
(延宝房総沖地震)

宮城県沿岸 広域津波防災情報図 (引潮図)

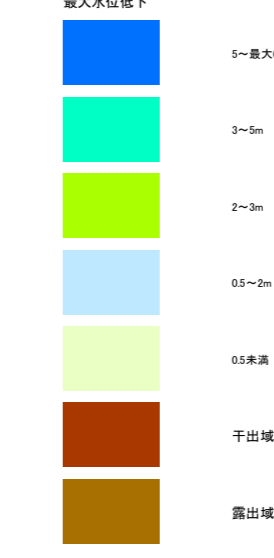


座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)

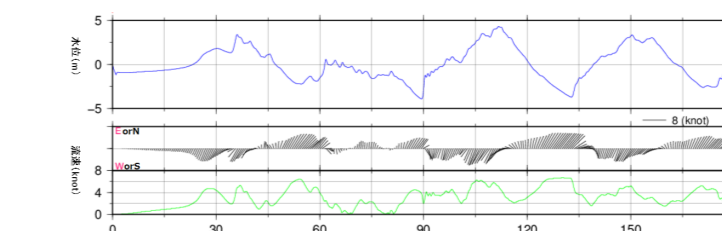
計算条件：最低水面（零位）
隆起量：平均 -0.02m (-0.03m ~ -0.01m)
Zo：0.92m
備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



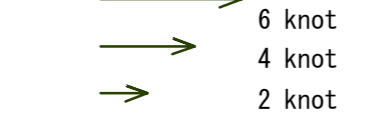
凡例



(例) 水位、流向、流速経時変化図



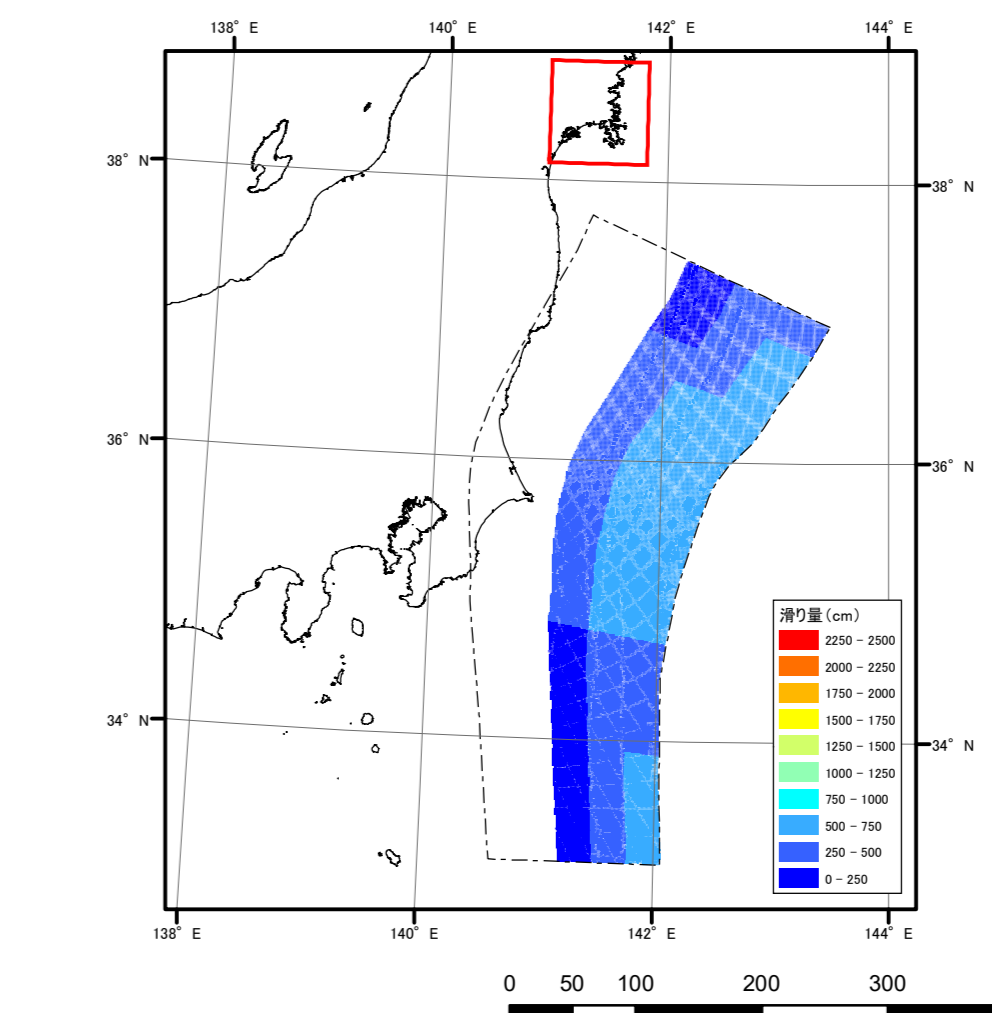
引潮時最大流 [knot]



○ 流向、流速の表示については、陸岸から概ね500m以上離れた地点から表示した。

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

断面モデル



延宝房総沖地震

モーメントマグニチュード Mw 8.5

本断面モデルは、内閣府の「首都直下地震モデル検討会」(平成25年12月19日発表)により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ

作成機関：海上保安庁
防災情報作成年月：平成29年7月(初版)
地形データ作成年月：平成29年1月(初版)